

クリニカルパスウェイ 前十字靱帯再建術を受ける患者さんへ

平成29年5月作成
東京慈恵医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後7日目 (1週間)	術後10日目	術後11日目	術後2週目	術後3週目
日時	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	☐ 手術の説明を受け理解できる ☐ 中止する薬がわかる ☐ 手術前の準備ができる	☐ 手術の必要性が理解でき、手術に同意できる ☐ 術前経口補水・飲水の必要性・方法が理解できる ☐ 全身の清潔を保つことができる	☐ 麻酔・手術に対しての不安が最小限である ☐ 傷の痛みや他の痛みの表出ができる ☐ 術直後は安静に過ごすことができる	☐ 下肢の痺れや冷感がなく、痛みが和らぐ ☐ 深部静脈血栓症の徴候がない ☐ 車椅子乗車ができる ☐ 下肢を無理に伸展させない ☐ 傷の感染がない	☐ リハビリを積極的に取り組む事ができる ☐ 痛みがコントロールできる ☐ 深部静脈血栓症の徴候がない ☐ 傷の感染がない	☐ リハビリを積極的に取り組む事ができる ☐ 痛みがコントロールできる ☐ 深部静脈血栓症の徴候がない ☐ 傷の感染がない	☐ 膝の屈曲が90度までできる ☐ 傷の感染徴候がない ☐ 松葉杖や杖で歩行できる				【退院基準】 ☐ 杖歩行にて階段昇降ができる
食事	●制限はありません ●治療食の有無の確認	●手術前日の夕方まで食事ができます ●経口補水または水を20時～翌朝6時まで飲みます 	●手術当日は食べる事ができません ●指示のない限り朝6時以降は何も飲んではいけません	朝食のみ全粥食、昼から通常の食事ができます							
活動	制限はありません	制限はありません	●術後はベッド上安静です ●足首など動かせる部分は動かしてかまいません	板付き車椅子に乗る事が出来ます 	●CPM 20～90度からスタートします ●装具を装着し松葉杖歩行します。 ●起立・歩行訓練が始まります	リハビリ室で許可が下りたら、歩行器・杖などによる歩行可能となります	疼痛に応じてCPM 0～120度していきます。				
検査 処置	採血・検尿・レントゲン・心電図・肺活量の検査があります 	●手術前に膝の動きを調べます ●必要に応じて血液検査や整形外科以外の診療科の診察があります	●弾性ストッキングを退院時まで履きます。	●随時、採血検査やレントゲン撮影があります	●回診にて創部の観察を行います。		●傷の抜鉤があります。				
薬	●持参薬を確認します ●抗凝固剤の有無を確認します	持参薬の確認をします	●麻酔科医の指示で内服薬の調整をします ●手術後に点滴があります ●疼痛時は点滴にて鎮痛剤または座薬を使用します	●医師の指示のもと常用薬の内服が再開します ●抗生剤の点滴があります ●疼痛時は内服や点滴、または座薬を使用します 	抗生剤の点滴が2日目で終了します	疼痛時は内服や点滴、または座薬を使用してコントロールします					
清潔	制限はありません	術前にシャワー浴をし、全身の皮膚の清潔を保ちます	術後は、尿の管、足に痛み止めの管が入っていることがあります	●尿の管を抜きます ●看護師が身体を拭く事など着替えを手伝わせてもらいます					傷に問題がなければ医師よりシャワーの許可が出来ます 		
指導 説明	入院生活と手術についての説明があります	●入院生活と手術についての説明があります ●麻酔科医師より麻酔内容について説明があります ●手術後の訓練の説明をします ●薬剤師が薬について説明します	手術後、主治医より手術結果について説明があります	リハビリ科医師の診察があります	●器械で膝を曲げるための訓練を始めます(CPM) ●リハビリ室での訓練が始まります ●装具が届き次第、装具の装着方法について説明します		退院に向けて創部の観察などの、セルフケア指導を行います				